

令和6年度町民活動推進補助金事業採択結果

No	申請団体		申請事業名	事業計画	補助 希望額 (円)	大磯町補助金等評価委員会の評価			
	団体名	代表者				評価点 (平均)	補助額	補助率	査定額 (円)
1	ほとり	小柴 舞子	地域にひらいた、 日中のこどもの居 場所づくり事業	【事業目的】 学校に行きにくい子や地域とかかわりが薄く、行く場所がない子が安心して過ごせ、様々なことに挑戦できる第三の居場所を提供することで、健全な子どもの成長をサポートする。 【事業計画】 ■令和6年4月 団体設立、コミュニティスペースヤッホーにおいて週3回子どもの居場所「ほとり」を開室、日々様子をSNS等でも発信、周知する。 こどもに無料で食事を提供できる仕組みを作る。 民生委員児童委員との情報共有を通し、場を必要とする家庭に少しでも多く利用してもらえるよう声掛けする。 ヤッホーとの協働イベント、他地域の同種団体との交流の機会を設ける。 町内の遊休農地活用を目的とした活動に参加、地域住民とともに畑で作物づくりを行う。 ■令和7年度【2年目】 開室日を週4日に増やし、上記活動を継続。コミュニティカフェ事業開始。 ■令和8年度【3年目】 上記活動を継続しながら、実績をもとに日本財団の助成金を申請する。 ■令和9年度【4年目】 上記活動を継続する。	100,000	29.2	満額補助	—	100,000
2	Lopo (Life of Photography Oiso)	小柴 尊昭	地域と人、人と人 をつなぐ、大磯写 真芸術プロジェク ト事業	【事業目的】 人・自然・文化などに代表される大磯の優れた資産を、大磯に在住・活動する写真芸術家たちが表現・発信。 ①大磯という地域の魅力の伝達 ②大磯に住まう人々のつながりづくり ③写真文化の魅力の発見をおこなっていく。あわせて、町民文化活動の振興、文化芸術からの町のブランド・魅力度向上に寄与。 【事業計画】 大磯の写真家の写真芸術作品の制作・発表を趣旨としたフォトマガジンを発刊。写真作家による制作作品をベースに、町内活性化につながるグッズづくり（ex. カレンダー、写真葉書・写真集）、アートピース（写真作品）展示販売、撮影イベント、写真教室などにつなげて相互発展をもたらす。 ■令和6年度 写真家による作品制作・活動。プロトタイプ成果物としてのフォトマガジンの発表 大磯町内での展示およびお披露目イベントを開催。 ■令和7年度 地域定着を目指し、作品を活用した展開スタート。 （フォトマガジンの増刷・配布、写真グッズ、写真作品の販売・展示、イベント開催） ■令和8年度 参画者を増やした形でのシンボル展示イベントの開催。 拠点（コワーキングスタジオ／アトリエ）の開設。	100,000	24.4	満額補助	—	100,000
					200,000	—	—	—	200,000